

令和2年2月10日号 (第205回)

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今回の阿伎留通信は、「手術室の紹介」をテーマに、看護部 中央手術・材料室係の山本 敬子 看護師長よりお話しさせていただきます。

当医療センターの手術室は常勤の麻酔科医4名、看護師12名で構成されています。全身麻酔などの麻酔科医が担当する手術は、主に外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、歯科口腔外科等が対象です。当医療センターの年間手術件数は1,642件(2019年度)と年々増加しており、また最近では体への負担が少ない腹腔鏡・胸腔鏡等の内視鏡手術も増えています。手術室は5部屋あり、外からの空気を部屋の中に入れこまないよう、室内の空気を陽圧(高い気圧)に保ち、また特殊なフィルターを使用して室内の空気を清浄化し、清潔な環境に整えています。特に、人工関節などの手術の場合は、感染予防のため空調をより一層厳しく管理しています。

手術という行為の間は、患者さんは麻酔がかかっている状態で意識がありません。また、手術室という密室での医療行為であり、日常からかけ離れた環境です。今回は、その中で、手術を安全に受けていただくための取り組みの一部をご紹介します。

手術室での取組のご紹介

まず、患者さんが病棟から手術室にいらした時に、病棟看護師とともに手術室看護師が、患者さんの手首につけているリストバンドで患者認証を行います。また、患者さんからお名前を名乗っていただいたり、左右のある臓器の場合は、右、左を言っていただくという患者参加型の誤認防止方法を行っています。

その後、患者さんの体に手術時に障害のある装飾物がないかチェックを行い、全て確認した後、手術のお部屋にご案内します。

この時も麻酔科によるリストバンドと、患者さんに名前を名乗っていただく行為で患者確認を行います。

①手術室に入るとき



こんにちは。お名前をフルネームでおっしゃってください。
右左、どちら側の手術ですか？

お名前をフルネームでお願いします。
ネームバンドのバーコードで照合しますね。

②麻酔をかける前



そして、麻酔がかかり、手術が始まる前に、タイムアウトを行います。

「タイムアウト」とは、手術を受ける患者さんについて、その手術に関係する医師、麻酔科医、看護師、技師の意思統一のため、患者氏名、手術方法、手術部位(左右)を確認するための休止時間のことです。

③手術を始める前(タイムアウト)



手術同意書確認 OK です。

これから阿伎留太郎さん 78 歳男性の
右側鼠経ヘルニアの手術を行います。

タイムアウトを行うことにより、全員で意思統一を図ります

このような患者確認方法を徹底して行うことで、患者さん間違い、手術部位間違いを防止し、安全な手術看護を提供しています。

私たち手術室看護師の使命は、患者さんの安全と安楽を担保し、手術が円滑に遂行できるよう、専門的知識と技術を提供することです。患者さんへの質の高い、心のこもった手術看護を提供し、周術期のチームとして役割を發揮できるよう、日々努力しています。

手術を受ける患者さんが、この阿伎留通信をご覧になり、少しでも安心感を得ることができれば幸いです。

阿伎留通信については、バックナンバーを公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)